

#北九州市立高等学校 コンセプトBOOK2027

とびだせ
ICHIKO



やり
たい

たい

行き
たい

たい

#やりたい自分になれる場所



やりたい自分に、
なってみる？

知り
たい

インタビュー
シツプ

#やってみる、
をどんどんふやそ！

おにプロ



見つけ
たい

#あなたの「やりたい」はなに？

私よ、
僕は、



たい!



未来を共に創る、個別最適な学びと協働的な学びの実現

生徒一人一人の個性や能力を尊重し、生徒たちが自分の興味や関心に基づいて学びを深める機会を提供したい。単なる知識だけでなく、創造力、問題解決能力、コミュニケーションスキルなど、多様な力を育てたい。

ひとりじや
なかまとなら、



できないことも、
きつとできる。

問いを生み、解を育む。

探究学習は、生徒たちが自分の疑問や問題意識から学びを生み出すプロセスです。探究的なアプローチを通じて、生徒たちは自分の問いを掘り下げ、解決策を見つけるスキルを身につけます。知識だけでなく、問題解決能力も養います。



ねえ、今日、探究しない？



探究活動の一環として

“おにぎりプロジェクト”

立ち上げました。



おにぎりプロジェクトとは、3～5人でチームを作り、地元をPRするおにぎりを開発するというものです。12月にミクニワールドスタジアム北九州で行われた全国大会にも出場し、北九州の魅力が詰まったおにぎりを披露しました。



1年生 「総探&イチ・プロ」

5月に行われた学年研修で、いとづの森公園にフィールドワークに行きました。フィールドワーク中に、地域に潜む課題を見つけ、自分たちで設定した課題の解決策を考えるという探究活動を行いました。学級ごとに探究活動の成果の発表を行い、学年の代表に選ばれたチームは文化祭のステージで発表を行いました。



インタビューシップの取組を行いました。インタビューシップとは、高校生が地元企業の経営者や社員の方にインタビューを行い、「働くこと」についての目的や考え方を学び、社会人としての将来につなげるプログラムです。企業を訪問し、インタビューした内容を1枚のパネルにまとめ、発表を行いました。10月、ミクニワールドスタジアム北九州で発表会を行い、インタビューを受け入れていただいた企業の方にも、多数ご参加いただきました。

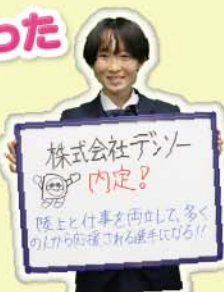
2年生 「総探&イチ・プロ」

最初は真っ白な紙からスタート。自分の「好き」や「社会のギモン」を自由に広げるウェビングマップから、あなただけの探究テーマを絞り込んでいきます。「これだ!」という問いを見つけたら、次は仮説の設定へ。ここからのブラッシュアップが、このプログラムの醍醐味です。一人で抱え込む必要はありません。クラスメイトとの雑談から意外なヒントをもらったり、最新のAIと対話してアイデアを整理したり。さらに先生や大学生のアドバイスを受けることで、「この問いは自分の将来にどうつながる?」という視点が加わり、テーマがより深く、鋭く磨き上げられていきます。



計画が決まれば、いよいよ検証アクション!図書館での徹底調査、企業や役所へのインタビュー、SNS等を活用したアンケートなど、自ら動いて「答え」を探しに行きます。多様な存在との対話を経て、自分の足で稼いだデータが仮説を裏付けたときの達成感、何物にも代えがたい経験になるはず。「知りたい」を「形」にする。北九州市立高校の探究は、あなたの未来を動かす最高の冒険です。

なりたい
自分に出会った
人たち!



問いを立て、未来を創る力

探究学習は、生徒自身が自分で問題を設定し、その問題を解決するために情報を収集・分析し、意見を交換したり協働したりしながら進める学習活動のことです。従来の教科書ベースの学習とは異なり、探究学習ではあらかじめ決められた正解がない中で答えを考え出すプロセスが重視されます。

対話する力

出すために

みんなの答えを

社会では自分の出した答えに他者からの共感・納得を得られることが必要です。自分の答えをさらにブラッシュアップするための対話する力を育成します。

共創する力

生き抜くために

予測困難な社会で

「発見する力」「まとめる力」「対話する力」を繰り返しながら、さまざまな経験を通して育成します。その結果、VUCA時代において進学先・就職先や地域社会などで他者と共に答えを見出すことのできる「共創する力」を育成します。

発見する力

ならないために

やらされた学習に

主体的な学びにするためには、自ら設定した課題が必要です。「これが課題だ!」と気づく力を育成します。

まとめる力

出すために

自分なりの答えを

課題の解決のためには情報収集、整理・分析、まとめ・表現することが必要です。「これが答えだ」という自分の考えを発信する力を育成します。



総合的な探究の時間ロードマップ

STEP 1	STEP 2	STEP 3	STEP 4	STEP 5
<p>探究とは… なぜ、探究が必要?</p>	<p>社会と関わる 働くって、何だろう?</p>	<p>社会で係わる なりたい自分を見つけよう</p>	<p>社会に拘わる なりたい自分に 出会う</p>	<p>社会に出る準備を なりたい自分に なるために</p>
<p>型を知る 【プロセス体験】 《1年1学期前半》</p>	<p>問いてみる 【プロセス挑戦】 《1年1学期後半～1年2学期》</p>	<p>実際にやってみる 【プロセス実践】 《1年3学期～2年2学期》</p>	<p>探究まとめ 【プロセスふりかえり】 《2年3学期～3年1学期前半》</p>	<p>キャリア探究 【自己実現プロセス】 《3年1学期後半～》</p>
<p>探究のための マインドセットを</p>	<p>勤労観の育成と プロジェクトへの挑戦 を通して社会と関わる</p>	<p>自己理解を経て課題を設定し、解決に向けたプロジェクトを通して社会で係わる。</p>	<p>社会で果たしたい役割を見つけ、自分が貢献できる 拘わり方を考える</p>	<p>自己実現をするには どうしていくべきか、 自己をみつめ、表現する</p>
<p>入学後のチームビルディングや 学年研修を通して、「課題設定」→ 「情報収集」→「整理・分析」→「ま とめ・表現」の探究プロセスを体 験してみる</p>	<p>インタビューシップを通して社会と 関わり、勤労観を育成し、自己のキ ャリアを考えるきっかけとする</p>	<p>STEP 2で醸成した勤労観をま とみに、「なりたい自分」を見つけ ます。自分の興味・関心から探究 したいテーマ・分野を決め、「問 い」と「仮説」を立て、検証を繰 り返していきます。</p>	<p>これまでの探究活動を活かし、 「なりたい自分」になった後、 どのように社会に貢献していく かにこだわり、探究活動の成果 としてまとめていく</p>	<p>これまでの高校生活をふりかえり、 「なりたい自分」になるには、どのよ うなステップが必要となるのか、自 分はどのような人間なのかを考 え、社会に出る準備をする</p>





本校では、生徒の「探究する力」や「共創する力」をより一層育成するために、ICTを活用した個別最適な学びへと授業改善を図っています。教師の授業改善のための研修「スタッチャタイム」やモデル授業を公開する「ラーニングフェスタ」を行い、生徒のために教師も学びを深めています。

学びの軌跡を進路に直結。

東進設計

「添削指導支援システム」導入

生徒一人ひとりの多様な進路実現を強力に後押しするため、R8年度より、東進ハイスクール設計の「添削指導支援システム」を導入いたします。近年、大学入試等で重要視されている小論文や志望理由書。本システムを活用することで、生徒が日々の学校生活で蓄積してきた「ポートフォリオ(学びの軌跡)」を、より説得力のある論理的な文章へと磨き上げることが可能になります。受験指導のノウハウが詰まった最先端のAI技術と、本校教員による手厚い個別サポートの相乗効果で、生徒たちの「なりたい自分」への挑戦を全力でバックアップします。

手に入れた知識を



対話は新たな視点を開く鍵

対話は私たちの学びにおいて貴重なツールです。異なる視点から問題やテーマを考えることで、自分の知識を広げ、深めることができます。また、対話は問題解決のための重要なツールでもあります。異なる視点が集まることで、より広範で深い理解を得ることができ、より効果的な解決策を見つけることができます。



使いたおせ!

Smile×Smile×Campus
で学び合おう **通称:SSC**

かつて「商業実践室」として親しまれていた教室が、新しく魅力的な学習スペースへと生まれ変わりました! このリノベーションは、西華産業株式会社様から北九州市への「企業版ふるさと納税(地方創生応援税制)」によるご寄付によって実現したものです。新しい教室の名称は、西華産業株式会社様の略称である「SSC」にちなんで、全校生徒からアイデアを募集しました。集まった多くの案の中から3つの候補に絞り、最後は西華産業の櫻井社長に直接選んでいただき、「Smile×Smile×Campus」に決定! 生徒たちの笑顔が掛け合わり、ともに学び合い成長していく新しいキャンパス(教室)。このSSCで、皆さんも一緒に有意義な高校生活を送りませんか?



通称:SCL

STAR-CHATTER LABO で高め合おう

主体的で、対話的な授業を行いやすくするために、旧情報総合実践室をリノベーションしました。授業中だけでなく、放課後も自主学習や打ち合わせに使えるように、ハイカウンター席・ローカウンター席、ファミレスシートなども設置されています。後方には、カーペット&大型クッションも設置され、リラックスする時間を過ごすこともできます。



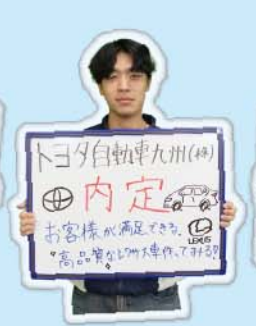
通称:CMS

Creative Media Space

ハイスペックPCやVR、3Dプリンターが並ぶ学びのスペース。大学や企業とつながり、本格的な制作や研究に挑戦できる、高校から始まる“未来の学び”の拠点です。



なりたい自分に出会った人たちII



入試にチャレンジ してみる?

R6年度入試（現3年生）から、特色化選抜で「コミュニケーション重視型」《R8年度入試におけるA方式（コミュニケーション型）》を実施しました。正解が1つではない問いに対して、「自分たち」なりの最適解を生み出そうとする過程を評価し、R8年度入試は70名が合格しました。また、R7年度入試（現2年生）からは、新たに「B方式（プレゼンテーション型）」をはじめました。「あなたは、高校生になったら、どのようなプロジェクトを立ち上げてみたいか。」をテーマとし、自分なりの考えを様々な方法でプレゼンしてもらいました。R8年度入試では、16名が合格しました。



B方式

正解は与えられるもの ではなく、つくるもの

過去問はこちら



R8年度 特色化選抜入試（A方式・B方式） Challenger's report !

A方式（コミュニケーション型）

Q. 市立高校を受検した動機は？

オープンスクールで、校内での学習でたくさんの人とコミュニケーションをとることはもちろん、学校外の方々とコミュニケーションがとれると知り、社会に出た時に、自分の力を上手に生かせる力が身につくと思ったからです。



岡垣東中出身

B方式（プレゼンテーション型）

Q. 市立高校に入学しての感想は？

入学式を終え、電車通学と共に、新たな環境が始まり、不安と焦りはかりで、ソワソワしたスタートを切りました。コミュニケーションをメインとした学校と聞いていましたが、入学して、すぐにグループでの話し合いの活動が始まったのは、とても驚きました。何より、人と話すことが苦手な人、友人ができるか不安な人も心配はいりません。市高の生徒は話が上手く、気付けば友人もたくさんできます。不安だらけだと思いますが、自信をもって、一緒に頑張りましょう！



則松中出身

Q. 今後、受検する後輩たちにアドバイスするとしたら？

グループワークでは、自分の考えを発言するだけでなく、班の人の意見を聞き、まとめて課題を解決することが大切です。授業の班活動一回一回を周りの人と協力して、課題解決することを意識してください。人と話すことがあまり得意ではない人は、まず意見の要約から始めると良いと思います。



板櫃中出身

Q. 今後、受検する後輩たちにアドバイスするとしたら？

プレゼンを作るとき、一人ではなく、先生や友人に相談して協働することが大切だと分かりました。日頃の授業で、自分の考えを伝えたり、相手の意見を取り入れたりする経験を積んでおくことで、よりよいプレゼンができると思います。



黒崎中出身





とびだせICHIKO

市高では生徒の「やってみたい」を増やし、生徒の様々なチャレンジを支援します。学校の外へ飛び出し、多様な人々・様々な文化との出会い、日常ではできない体験を通して、「なりたい自分」、「やりたいこと」といった自己理解を深め、自己実現に向けた取組を実施するとともに、グローバルな視野を持って地域で活躍するグローバル人材の育成を目指しています。

韓国・プサン大学の学生と、1年生の生徒が交流しました。一緒に餅つきをして交流を深め、班ごとに考えたオリジナルレシピでお餅を作りました。言葉の壁を越えいろいろな情報を交換することができました。



教室が世界とつながる！
海を越えて生まれた絆

本校では、AFS日本協会のプログラムを通じて北九州市にやってきた同世代の留学生を、私たちの仲間として教室に迎え入れています。

R6年度はトルコから、R7年度はインドネシアとフィリピンから留学生がやってきました。授業を受けたり、お弁当を食べたり、学校行事で盛り上がり。言葉や文化の壁を越えて、同じ高校生として何気ない日常をともに過ごすうちに、そこには国境を越えたかけがえのない友情が芽生えます。

留学期間を終えて帰国する最終日には、涙で別れを惜しむ生徒たちの姿も。教室にしながら世界とつながり、一生モノの絆をつくる。そんな豊かな国際交流が本校にはあります。

出会いは最 さあ、タビ



韓国・ソジョン高校の生徒と、本校の生徒が交流しました。4日間にわたって北九州市内のフィールドワーク、ウェルカムパーティー、研究発表会などで交流を深めました。交流を通じてお互いの習慣や文化に触れ、有意義な時間を過ごすことができました。

なりたい 自分に出会った 人たちⅡ



3年生「人間と科学」の授業において、VRを使用した授業を行いました。大学の技術提供と企業からの実データを活用し、ISS船内や火山を本格的に再現。VR空間を歩きながら、教科書では見えない世界を探検しました。



1年生を対象に、北九州市立大学基盤教育センターの中尾教授による「データサイエンス特別授業」が行われました。データの見方や社会とのつながりを学ぶ実践的な内容が展開されました。プログラムを通して、データサイエンスの基礎と、その社会的な意義を実感しました。



大の経験。 ニデヨウ

学びが社会と直結する。「株式会社CHIKO」始動

本校では、生徒たちが実際のビジネスを通じて社会の仕組みを学ぶ実践の場として、「株式会社CHIKO」を設立いたしました。活動の幅は広く、昨年度は株式会社岡田鋼材様からのご依頼でプロモーションCMを制作し、ひびき信用金庫小倉支店の大型ビジョンで放映。また、校内食堂でのデザート販売など、企画から販売までを生徒自身が手掛けています。本事業の大きな特徴は、得られた収益を本校の特色ある探究活動「とびだせCHIKO」や「おにぎりプロジェクト」に還元している点です。自らの手で利益を生み出し、それをさらなる学びに投資していく——。この実践的なサイクルこそが、生徒たちの「生きる力」を育みます。



2年生「公共」の授業において三井住友海上火災保険株式会社の方々による、金融リテラシー教育の出前授業が行われました。日常生活にひそむ様々なリスクを見つけながら、「保険って何だろう?」という基本的な内容を説明していただきました。教科書では学ぶことのできない、実生活と結びついた内容で、多くの学びを得ることができました。



1年生を対象に、人材教育研究所の中野先生による接遇マナー講習が行われました。実際に体を動かしながら、アクティブに、挨拶やマナーの大切さを学ぶことができました。





青春も自分たちで創りあげたい

青春は自己成長と発見の時期です。新しいことに挑戦し、自分の興味や才能を探究することで、自己理解が深まります。自分自身を知り、成長することで、将来の自分をより良くするための基盤を創りましょう。



公式マスコットキャラクター
いちち

楽しむが、



なりたい 自分に出会った 人たちⅣ



部活動の詳細はHPへ



公式マスコットキャラクター
りっつ



価値。



このぷくぷくシール
貼らない?



ベタコーデ屋
さやーと/ひじいろは
コンセプトBOOK制作部長
サヤサン&ヒジサン 作



SCHOOL LIFE

- 4月**
- 始業式
 - 入学式
 - 対面式
 - 授業参観

- 5月**
- 学年研修（1年）
 - 文化祭（5/28・5/29・5/30）

- 6月**
- 期末考査

- 7月**
- 生徒総会
 - 保護者会
 - 夏季集中講義

- 8月**
- 夏季休業

- 9月**
- 第1回中学生学校見学会

- 10月**
- 体育祭
 - 生徒会役員選挙
 - 修学旅行（2年）
 - 第2回中学生学校見学会

- 11月**
- 期末考査

- 12月**
- 北九州ゆめみらいワーク
 - 保護者会
 - 冬季集中講義

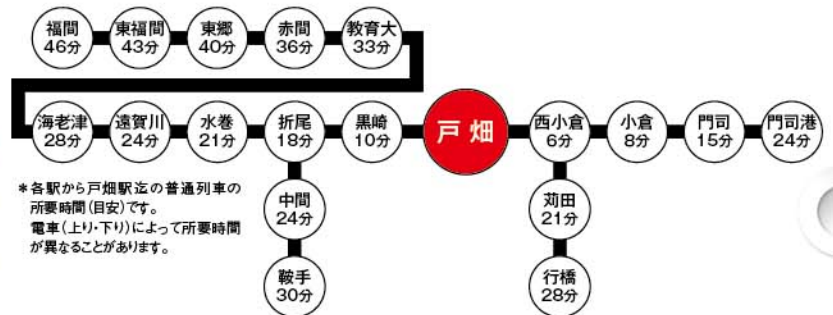
- 1月**
- 始業式
 - 学年末考査（3年）

- 2月**
- 学年末考査（1・2年）

- 3月**
- 卒業式
 - 卒業生との懇談会

※SCHOOL LIFEはR8年度の予定です。年間行事は変更になる場合があります。

ACCESS



*各駅から戸畑駅迄の普通列車の所要時間(目安)です。電車(上り・下り)によって所要時間が異なることがあります。

- JR戸畑駅 徒歩15分
西鉄バス天籟寺下車 徒歩8分
” 天神四角下車 徒歩8分
” 戸畑区役所下車 徒歩8分
” 沖台通り下車 徒歩10分

その他、詳細はHP・インスタで!



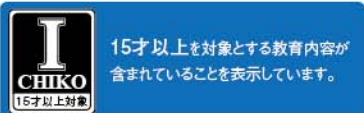
公式Homepage QR



公式Instagram QR



学校紹介PV QR



※このコンセプトBOOKは、生成AIを用いて作成しています。本校はR6・R7・R8年度文部科学省から「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」として指定されています。